

# 青少年の悩みごと

## 一緒に考えましょう

生涯学習課青少年係 ☎(63)8324

ひきこもりや不登校など、思春期の子どもや若者の悩みには、早めの対応が改善の第一歩。子どもからの「サイン」を見逃していませんか？ 気になることがあったら、一人で悩まず相談しましょう。



### 原因はさまざま

ひきこもりや不登校は、不安やストレス等から自分自身を守るための行動の現れです。ひきこもりや不登校などに至る原因はさまざまで、家族問題やいじめ、心の病気や障がい等、様々な要因が背景に隠れている場合があります。

### 早めの相談が社会適応への近道

ひきこもり等の状態が長引けば長引くほど、社会への適応や対応も難しくなります。早めに対処することで重症化するのを防いだり、社会への適応につながるができます。「子どもが不登校になった」「高校を中退した」「子どもが何を考えているのか分からない」など、さまざまな青少年の悩みや行動に対し、どう接したら良いのかわからない。そんなときは、一人で悩まず相談することが大切です。市では、平成25年4月に「ひきこもり相談窓口」を設置し、子どもの特性に合わせた適切な対応を支援しています。医療、福祉、教育、行政等の関係機関が連携し、最善な対応を一緒に考えます。

### 相談から始まる気づきと変化

市内には、ひきこもり状態にある15歳から39歳の人が500人弱いると見込まれています。25年度に「ひきこもり相談窓口」で受けた相談件数は延べ79件。そのうち91%がひきこもりやニート、不登校に関する相談でした。



相談の中には、「子どもとの接し方のヒントが得られた」「本人の生活行動に変化がでてきた」「高校を中退したが、再出発できた」など、前進の兆しが現れ、本人や家族の精神的負担が軽減したケースもあります。

一回の相談で解決に導くことは難しいですが、焦らず・諦めず見守っていきましよう。

### サポステ寺子屋鹿沼

復学、在学中の学校の卒業・進学など、自分の目標に合わせ勉強（自習形式）し、分からないところを先生がサポートします。一緒に楽しく学びましょう。

とき 毎週木曜日 午後2時～4時

ところ 南部地区会館（万町）

問い合わせ先 とちぎ若者サポートステーション

☎028(612)2341

### ひきこもり相談窓口

ひきこもり、就労・就学、ニート、不登校など、青少年の悩みごとに、相談員が応じます。

とき 月～金曜日 午前8時30分～午後5時  
（土・日・祝日、年末年始は除く）

ところ 市民情報センター4階 生涯学習課内

相談電話 ☎(63)8324(直通)

相談メール counseltoyoung@city.kanuma.lg.jp